

総務産業常任委員会会議録

- 1 日 時 令和6年10月4日（金）
11時00分開会 11時44分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：中河つる子 副委員長：田村幸紀
委 員：只野敏彦、鈴木孝寿、中島里司、深沼達生
議 長：山下清美（欠席）
- 4 事務局 事務局長：大尾 智
- 5 議 件
（1）所管事務調査の報告について
（2）その他
- 6 会議録 別紙のとおり

【開会 11 : 00】

(1) 所管事務調査の報告について

委員長（中河つる子）：只今より総務産業常任委員会を開催する。先日行ってきた道外視察、神山町、梶原町、北区それぞれについて、まず神山町についてのまとめ、委員会からのまとめとして皆さんからの意見を聞きたいと思う。一言で言えないところがあるかもしれないけれども。

鈴木委員：報告は12月なので、この後どうしていくか、多分委員会開催しなくてもいい状態になってしまう。そうすると、まずこのまとめを今月もしくはある程度しつつ、ある程度固まってこういうのだった、ああいうのだったという確認作業をしつつ、役場の担当もしくは関係機関にもう一度聞いた上でこういうのができるのかできないのかという話を含めてある程度やるのが正しいのか、今の流れがこれで報告して10月、11月終わりというのは、さすがに私は楽でいいけれど、せっかく行ったのならこれを今度いわゆる担当者とディスカッションした方がいいのではないかという気はする。今まとめるのは構わないが、流れをどうしていくか最終的に、それをざくばらんに話した方がいいと思う。

委員長：流れとして鈴木委員の言ったような個々のまとめ、それと役場の人との話し合いをやって、それをやった上での委員会としてのまとめに持っていくという意見が出されたけれども他の方どうか。

深沼委員：私も実際のところ帰ってきてまだ1週間ぐらいしか経っていない中で、なかなかまとめきれない部分も自分の中である。だから、鈴木委員言われたようにある程度今日ここで出る部分は出る部分でまとめて、またその中身によっては職員にも聞いた中で、神山町ではこうだった、梶原ではこうだったけれども清水町としてはこういことができる部分があるのかどうか、実際やっている空き地対策の部分とか、清水ではあまりそのようなやり方をしていない部分がある。そういった部分も聞いた上での報告書を作れた方がもっといい報告書ができるのではないかなと思う。

委員長：新しいこととか清水でやっていないことも色々聞いてきた中で、ただその報告だけではそれを活かしていけるという事にならないかもしれないし、神山町でやっているような、話し合いをして色々ないい方法を見つけたという話も聞いてきたし。

鈴木委員：結果的に多分こういう集まりをもう1回、2回やらなければならないと思う。その上で、こういうのはやっているのかやっていないのかというのは、見たらすでにやっているから、うちの役場内のことはだいたい分かっているけれど、ぶつけても答えは出てこないかも、ただ可能性はあるのかなのかという関係はできるので、

やる方がいいけれど、まず我々はまとめるのが先なのかと、逆だと思ったけれども、今喋っているうちにまずはまとめつつ、ある程度皆でこう思ってこういう認識だと、その認識違うというのが1点ぐらいあるので、そこは皆で確認したいと思ってはいたので、そういうのも含めて今日ともう1回ぐらいして、その結果必要だったら役場職員とやった方がいいし、でも役場職員とやってこういう流れの方がいいのではないかというのを結果的には我々はアドバイスぐらいしかできない、立案してくるのはまた別だから、やるような方向性を持ちながら日程はまだ持たないで、まずは今日1回まとめて、さらにはもう1回、その後個別で出すか出さないか後で出ると思うけれども、個別で出したやつを皆で見ながら委員会のまとめにしていこうというやり方でもいいと。だけどその途中で単なる自分たちの主観でいって、何とかでまとめた報告書をこうだからやってと言うのも乱暴だから、話し合いをしていく最中で役場の担当課と話しすることは必要だと思う。役場職員とやる日程はまだ組まないにしても今月中にある程度神山と梶原のことをまとめつつ、皆で問題点はどこだろう、うちの町の問題点を抽出した上でどのように報告、どういう調査をするかをしないとならないと思う。

只野委員：今回道外研修は初めてだったけれども、最初話し合っていた話と少し違うと思ったのは、鈴木委員が言ったと思うけれども、神山町の街を少し見ようというような話をしていたと思う。商店街を通ったり話を聞いたりというのが全くなかったの、結局役場だけの話を聞いても本当にそれがどのような状態で町の中に影響しているのかというのを検証しないと、あれだけ聞いてもというのがあったし、大南さんとか祁答院さんとか、町の中でキーマンという方々が一生懸命色々やられているという情報は入ってきたけれど、今回行った中では役場だけの話しか聞こえてないし、そういうところも含めてグリーンバレーを見に行くとかも本当はあった方が良かったし、結局報告というのかまとめをするのだろうけれども、議会見ているとまとめやって終わりというところで、それが町に対してこういうことをして欲しいというようなことでまとめを出していると思うけれども、それが本当になっているかということと、直前であったけれども担当職員を連れて行きたいという話をしたのが、行ったら一緒に見ているわけだから、やれるという方向に行くかもしれない。ぶっちゃけた話をすると、担当課の職員が大南さんも祁答院さんも知っているという話をしていたので、できればグリーンバレーとかそちらの方の人の話も聞きたいというところであれば、そこからコネクションあるのならやれるという思いもあったので、本当に短かったし今回は一緒だったので、最後鈴木委員が喋らせてと言った時に、向こうで喋らせてくれという人がいて、思わず鈴木委員に喋らせろと言ったが、こちら側の思いであそこに行っているのがあるので、その辺もう少し事前に協議できればと。私も1回しか質問しなかったし、皆は気を使って鈴木委員にさせてあげようという心持ちで、気持ちでやっていたけれども、向こうが結構多かったので時間が20分も超過した。その辺も反省材料として、まとめるという部分も大事だけれども、次どうやって行くかということもやっていかなければ、ただまとめて報告して終わりというだけだと町にとっていい方向になるのかということは考えなければいけないのではないかなと思う。

鈴木委員：行程中に委員長と朝食食べながらどうでしたと言われて、実は調べすぎて新鮮味がなかった、正直言うと。ただ、雰囲気を感じれるのは最低限良かったというのと、

担当者若い人だからやらされてる感が多少は、でも若いうちだから全然いいと思うけれども、それにしてもあれで回っている町は何なのだろうと、行った瞬間にそれと色々途中で話を聞くとわかってくる。私の中では当日になると逆に冷めていた。終わってから冷めていた。悪い意味じゃなくて、到底追いつかないなというぐらゐのそういう冷め具合である。先行き過ぎているから。でも可能性はどこにでも残っているから、うちのやらなければならないことは何と言っても、同じこと真似たって絶対できない。ということは、スタートは何かということのをその後これから話していくのだと思うけれども、うちの足りないところは何か、うちができない理由は何かというのは私の中で全部答えは出ている。それが正しいかどうかは別にしても、それからいくと長い道のりだという思いもあったり、只野委員曰く担当職員連れて行っても我々議員がまず理解しない限りは全く動かないし、議員が理解したからといって何が動くのといっても動かない。だから仕掛けづくりを皆でやっていくというか、議会とか町職員とやっていくということが今回最終的には分かったというかそうしなければならないという思いがあったので、まあ反省はたくさんあると思う。街行けなかったのは本当にがっかりだったけれども、グーグルビューイングで少しだけ見たけれども、そのレベルではあるが、ただ感覚でいくとやりすぎてしまった感覚とさらっと担当者と喋った感覚でいくと、やっぱりかと腑に落ちているところもあるし、難しいという思いもたくさんあるので、そういう部分をこれから話できればいいと思う。進め方としては、まずは反省点を出したり、結局聞いた話がそれぞれの理解がそれぞれの経験とか足していくと、全然違う答えになっていると思う、皆が皆、6人が6人多分違う答えになっている。その意見調整をしていかなければならないと思う。

中島委員：これは所管事務調査の報告についてということで、一人一人考え方違うだろうが、私は所管事務調査高いお金使わせてもらって行かせてもらって、今ここでその結果を職員を呼んでそこで云々と答えだす必要あるのか、必要ないとは言わないけれどもこの調査を報告して、そこでこれは道外研修だから、それ終われば職員に対しては今後その調査報告によって、あるいは自分が直接感じたことを清水町に対してぶつけるという部分でいけば、報告終わってから議員としては機会があるわけだから、それを職員を呼んでここでとことん問い詰めてできないの答えを求める必要はないと思っている。それはこれからやることだろうと、それが報告だと思っている。職員を呼ぶということは、この報告を皆で話してまとめた後、この部分をもう一回聞いてみたい、町に正していきたいという項目があれば、職員と話す機会はいくらでもあるので、作ることではできるはずだから、そういうことでまずはまとめを先に一回やらなければ、いつまでも行く前の話と違っていた云々ではなくて、帰ってきたのだからまとめなければ仕方ないのだから、私はまとめることを前提にして次の段階で今言われたようなこと、意見があるようなことは次の段階でしっかり活かしていくという考え方をしている。今やらなければならないことは、あれもこれもではなくて報告書をまとめることだろうと思っている。

田村委員：所管事務調査の報告後の対応というのは、あとは役場の職員次第だと思っているので、報告を受けて役場職員がどうするか、そのままにされるのかそれをしっかりと揉んでいくのかというのはその先の話なので、ちょっとそれを置いておくが、今回途中で職員というのは研修の前に町のことを知ってその上で研修に行くのか、道

外研修行って感じてきたことを一度職員とやるというのは、その後先、報告作る前には必要だと思った。研修行ってそのことをまとめて、まとめたものを職員ではなくて、まとめる前に職員ともう一度少し話し合って、自分たち議員の考えをまとめてその上で報告書を作成というのはいいと、多分鈴木委員はそう言われたと思ったので、その方がいいと思っている。

鈴木委員：まずはまとめようとりあえず、とりあえずという言い方は悪いけれど、まとめて同じ意識で理解、道内に去年行ったのは委員長、副委員長でまとめていただいていたからあれだが、多分この機会はまだ1回くらいやらないと終わらないと思うというか、問題点出したりとかそういうのをやった上で必要となった時に職員と話したい。先程言っていたのは結局職員に言おうが何しようがゴーサイン出すというか考え方をこれを見て判断するのは町長、副町長なので、この方向性が大事なのではないかというのを、ただそのような四角四面なことをやっても仕方ないので、報告書として町長、副町長に上げつつも担当課とはどこかでしっかり話していくというのは、それはそれで必要なことだと思うので、それは置いて、先に言って申し訳なかったけれども、まずはまとめていくしかない、まとめて共通認識で問題点を抽出していくという作業をした方が、とりあえずは行った結果としてどうだったか、どういう問題が出てきたかというのをやらないと前に進まないから、私が途中で変に振ったけれども、委員長の最初に言った問題点を少しずつ思い出しながらやった後考えよう。

委員長：まずまとめをやる、その後話し合いを持つ必要があれば。

中島委員：1つずつ議題として、委員の言うことは次から次に出てくる場合あるけれども、委員長はそうではなくて1つずつまとめたらどうだろうかという意見だから、まずそれをお諮りして、その後どうするかというのを進めていただきたいと思う。

委員長：まず、委員の中で意見を出してまとめる、視察に行った部分を。その後またそれは考えるということでまとめをしたいと思う。

中島委員：まとめる方法ということで、実は復命書を各自出すが、先程議長に申し上げたのだが、復命書を個々で出してまとめるといったら、多分まとめと復命書はそれほど内容的に差のない、まとめだから今ここにいる6人の意見を復命書で書いてまとめる、これ1、2回やってもらいたいというのは、復命書的なものを先に出していただいて、それで一つずつ協議した方が分かりやすいと思う。この場で考え方を意見交換するのではなくて、それもいいけれども、しっかり記録をとって、それを横ブレしないようにまとめていかなければならない。議長に言ったらと議長の判断でも復命書は出してという答えであった。それは報告書と同じ文書になると、全部ではなくて一部であるが、すると町民から何だ皆報告書の一部取って同じこと書いてあるではないかと、見た人はそう言う可能性ないかという話をしたが、議長は副議長と相談されたようなので、復命書を本当に簡単でもいいから書いてくれという話だから、それはそれで自分の考え方色々でもいいが出していただいて、うちは所管以外のことは書けないから、一応そういうルールで所管調査させてもらっているのだから、向こうの感じていることあるけれども、それは書いても言ってもいけない

ことだから、まず復命書をお互いに早く出そうと呼びかけしていただいて、それを各自で結果を皆で共有してまとめる方向にしてもらった方がいいと、私は大して書くことはないが。

議会事務局長（大尾 智）：議員研修要綱というがあるので、その中で研修報告により報告しなければならないとなっている。それで、最低限の項目があるので、あとは分量等どのぐらいで作るかというのは各個人、議員のあれなので、今中島委員が話したのは、それを持ち寄って委員会報告にまとめていくということだと思う。

中島委員：議員として出張旅費頂いた場合は基本的には復命書が必要で、復命書を書かなくていいのは特別職だけで、基本的には復命書を書くというのが建前だから。ただ、今回の場合このように皆で話し合っただけなら復命書と報告書とだぶらないかということを議長に相談したけれど、議会の場合は、議長権限で絶対的なものを持っているだろうという話をしたが、議長が考えた結果復命書は求めるということで話しが先程あったのであえて言わなかったが、これはまとめよう、まとめるためにまずここで具体的にではなく、それぞれの何かあったら、思いを復命書の中で表すという確認を取っていただいて、次の段階に行ったらいいのではないかと思うがいかがか。

委員長：研修報告書を皆さんこれから出すように考えていると思うけれども、これを自分でそれぞれ書いたものを議長宛てに出す。

中島委員：その結果、今度の委員会で共有してまとめの意見交換しようと、意見をまとめようということ。

委員長：それではもう一度言う、この研修報告書をそれぞれ議長に出して、その後それを元にとするか、それぞれの意見として委員会でまとめとして作るということで皆さんよろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長、それでは、そういうことにするというので、それぞれ3つの町に行ったので、それぞれを書いてまとめるということで。

議会事務局長：一連でいいと思う。行った自治体ごとに別々ではなくて一連で大丈夫である。

委員長：ということは、それを何日まで出すかということ。報告を18日まで、その次の会議としては28日、29日どちらがいいか。それでは、18日までに皆さんの報告書を出す。そして28日か29日は事務局の都合のいい日で後で相談するということにしたいと思うがよろしいか。

（「はい」との声あり）

(2) その他

委員長：それではそのようにお願いします。その他何かあるか。暫時休憩する。

【休憩 11：35】

【再開 11：44】

委員長：そういうことで、それぞれの方が報告書を出して、それをやるということで、その他なければ、以上で本日の総務産業常任委員会を終了する。

【終了 11：44】